

総務

1 天草広域連合の地勢

天草は熊本県の南西部に位置し東シナ海や八代海、有明海に囲まれ豊かな自然と南蛮文化、キリシタンの歴史などの観光資源に恵まれた風光明媚なところです。

消防本部は天草市にあり天草下島の東経130度11分20秒、北緯32度28分44秒に位置し南北51キロ、東西48.5キロの中心に位置します。

2 人口・世帯数及び面積

令和7年4月1日現在

市 町 名	総人口	世帯数	面積（k m ² ）
天 草 市	71,018	35,736	683.86
上 天 草 市	23,301	10,984	126.94
天草郡苓北町	6,133	2,988	67.58
合 計	100,452	49,708	878.38

3 沿革

《昭和》

29年	4月	本渡市消防本部が発足する。(職員4人)
	8月	本渡市消防署が発足する。(1本部、1署、車両1台、職員19人)
39年	4月	牛深市消防本部が発足する。(1本部、1署、車両1台、職員18人)
	10月	本渡中央商店街の大火
41年	12月	本渡市消防本部、消防署、庁舎が落成
45年	3月	本渡市消防署瀬戸分駐所が開所する。
46年	4月	本渡地区消防組合(本渡市、有明町、新和町、五和町)が発足する。 (1本部、1署、3分署、1分駐所、車両18台、職員80人) 消防吏員37人採用 新規採用者熊本県消防学校へ入校(30人)
47年	4月	消防吏員8人採用(職員85人) 天草広域消防組合設立準備室が発足する。
48年	1月	天草消防組合規約が議決される。(2市13町)
	2月	化学消防車購入、中央消防署へ配備する。
	4月	本渡市、牛深市、大矢野町、松島町、有明町、姫戸町、龍ヶ岳町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町、河浦町、で天草消防組合が発足する。 (1本部、2署、8分署、車両34台、定員146人) 瀬戸分駐所を分署へ改署 組合管理者に横山寛人氏、消防長に山崎光義氏(初代)が就任 消防吏員25人採用(職員162人) 新規採用者熊本県消防学校へ入校(16人)
	5月	大矢野分署、河浦分署が開署する。
	7月	新規採用者熊本県消防学校へ入校(9人)
	9月	熊本県消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	10月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	11月	東天草分署、松島分署が開署する。 日本赤十字社熊本県支部(天草地区建設業協会補助)から救急自動車の寄贈を受ける。
49年	1月	消防ポンプ自動車購入、松島分署及び河浦分署へ配備する。
	2月	「あましょう」創刊号を発行する。
	4月	西天草分署が開署する。 消防吏員16人採用(職員161人) 日本自動車工業会及び日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。(2台)
	5月	瀬戸分署が閉署する。
	10月	消防艇「ごしょうら」が進水、御所浦分駐所が開所する。 有明分署「菊花鉢」の配布始める。155鉢
	11月	はしご付き消防ポンプ自動車を購入、中央消防署へ配備する。
	12月	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。
50年	3月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	消防吏員1人を採用(職員162人)
	8月	消防吏員1人を採用(職員162人) 消防ポンプ自動車購入、大矢野分署及び西天草分署へ配備する。
51年	4月	職員定数186人とする。消防吏員20人採用(職員180人) 新規採用者熊本県消防学校へ入校(20人) 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	9月	消防ポンプ自動車購入、有明分署及び新和分署へ配備する。
	10月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
52年	2月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	3月	全署、分署に救助技術訓練施設が完成
	5月	消防吏員2人採用(職員182人)
	9月	消防大学校予防科第23期入校(1人) 消防ポンプ自動車購入、南消防署へ配備する。
53年	1月	消防大学校警防科第19期入校(1人)
	3月	熊本県町村職員退職手当組合に加入
	4月	消防大学校予防科第24期入校(1人)
	5月	消防大学校救急科12期入校(1人)

54年	10月	消防本部を組織改革する。総務課（4係）警防課（3係）
	12月	南消防署車庫増築工事竣工
	4月	消防吏員6人採用（職員186人）
	9月	日本消防協会から救急自動車の交付を受ける。 消防大学校危険物保安科第4期入校（1人）
55年	10月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。 天草消防組合音楽隊が結成される。
	11月	はしご付き消防ポンプ自動車購入、南消防署へ配備する。
	3月	広域消防発足10周年記念大会を開催する。 消防庁長官功労章を山崎光義消防長が受ける。
	4月	職員定数198人とする。消防吏員9人採用（職員194人）
	5月	第3回全国消防職員意見発表会へ九州地区代表として山下弥平消防士が出場する。
	6月	天草地域少年婦人防火委員会が発足する。
	7月	消防大学校予防科第28期入校（1人）
	8月	消防艇「第2ごしょうら」が進水
	10月	苓北分署開署、北天草分署を「五和分署」と改める。 天草本渡ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。 熊本県消防駅伝大会が大矢野町で開催される。
	12月	救急自動車購入、苓北分署へ配備する。
56年	1月	九州地区消防駅伝大会で初優勝（長崎・諫早市） 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。 消防ポンプ自動車CD-I型購入、五和分署及び苓北分署へ配備する。
	2月	救急自動車購入、大矢野分署へ配備する。
	3月	苓北分署庁舎竣工 救急無線波を導入する。 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	5月	山崎光義消防長退任 消防長に山下金廣氏（第二代）就任
	8月	消防本部、中央消防署増改築工事起工
	10月	熊本県総合防災訓練を牛深市で実施する。
	11月	九州地区消防職員駅伝大会で優勝（熊本市）
	1月	消防大学校警防科第27期入校（1人）
	2月	消防ポンプ自動車CD-I型購入、南消防署へ配備する。
	3月	救急自動車購入、五和分署へ配備する。 消防本部、中央消防署増改築工事竣工
57年	4月	消防大学校予防科第32期入校（1人）
	10月	日本防火協会から防火広報車の交付を受ける。 南消防署庁舎改修工事竣工 連絡車3台購入、有明分署及び新和分署並びに五和分署へ配備する。
	11月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（福岡市） 有明分署、新和分署、五和分署庁舎塗装工事竣工
	2月	中央消防署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	3月	救急自動車購入、東天草分署へ配備する。
	4月	消防吏員4人採用（職員195人） 消防大学校予防科第34期入校（1人）
	6月	全国消防職員意見発表会で富安國男士長が最優秀賞となる。
	8月	消防大学校警防科第31期入校（1人）
	9月	天草広域消防連絡協議会が結成される。
	12月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（伊万里市）
58年	2月	救急自動車購入、中央消防署へ配備する。
	3月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。 組管理者横山寛人氏退任 組管理者に本渡市長、久々山義人氏就任
	9月	消防大学校救助科第10期入校（1人） 東天草分署庁舎改修工事竣工
	11月	九州地区消防職員駅伝大会で優勝（指宿市）
	4月	消防吏員5人採用（職員195人）
	11月	大矢野分署、西天草分署庁舎改装工事竣工
59年		
60年		

		九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（福岡市） 消防はしご乗り隊を結成する。
6 1 年	1 2 月	1 1 9 番本部通信指令室集約（有明町、栖本町、新和町、五和町）
	3 月	山下金廣消防長退任
	4 月	消防長に中野孝一氏（第三代）就任 1 1 9 番本部通信指令室集約（御所浦町）
	6 月	消防大学校警防科第 3 9 期入校（1 人）
	1 0 月	中央消防署はしご自動車オーバーホール
6 2 年	1 1 月	消防本部の指令車、松島分署、東天草分署、河浦分署の連絡車を更新する。 九州地区消防職員駅伝大会で優勝（大分市） 第 1 回屋内消火栓操法大会を開催する。
	1 2 月	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を更新する。
	1 月	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4 月	河浦分署庁舎改装工事竣工 消防大学校予防科第 4 2 期入校（1 人）
	6 月	輸送車購入、消防本部へ配備する。
	8 月	日本消防協会から電源照明車の交付を受ける。
	9 月	天草町もみじ保育園、しらさぎ保育園に幼年消防クラブが結成される。 中央消防署改装工事竣工
	1 1 月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（西都市）
	1 2 月	南消防署の水槽付消防ポンプ自動車、南消防署と大矢野分署の救急自動車 2 台を更新する。
	1 月	指令車購入、消防本部へ配備する。
6 3 年	3 月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。 新和町大多尾少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。
	4 月	消防吏員 7 人採用（女性消防士 2 人採用、職員 1 9 7 人） 消防大学校救助科第 1 8 期入校（1 人）
	5 月	指令車購入、南消防署へ配備する。 有明分署庁舎改装工事竣工
		松島町愛光園に幼年消防クラブが結成される。
	9 月	龍ヶ岳無線固定局増設及び中継局舎改築工事竣工
	1 0 月	自治体消防制度 4 0 周年・天草消防組合発足 1 5 周年記念「消防フェスティバル天草」を開催する。
6 4 年	1 2 月	有明分署の消防ポンプ自動車 C D - I 型に更新する。
	1 月	天草消防組合特別救助隊が発足する。（1 日）
《平成》		
元年	1 月	元号が平成となる。（8 日）
	2 月	「記者と消防の集い」を開催する。
	3 月	第 1 回自転車ロード耐久訓練実施（天草下島一周 1 4 0 キロ） 救助工作車（Ⅱ型）購入、中央消防署へ配備する。
	4 月	熊本県消防学校研修教官派遣（～9 月・1 人）
	6 月	消防大学校警防科第 4 5 期入校（1 人）
	1 0 月	熊本県消防学校研修教官派遣（～3 月・1 人）
	1 1 月	くまもと“8 9 ふるさと消防フェア”（アスペクタ）にはしご乗り隊が出演する。
	1 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。
	2 月	天草消防組合音楽隊 1 0 周年記念演奏会を開催する。
	3 月	姫戸町牟田少年消防クラブが全国運営指導協議会長から優良なクラブの表彰を受ける。
2 年	4 月	消防本部の組織を改革する。（企画情報室を新設、警防課を防災課へ名称変更） 熊本県消防学校研修教官派遣（～9 月・1 人） 消防吏員 4 人採用（職員 1 9 6 人）
	7 月	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
	8 月	本渡市に星光園婦人防火クラブが結成される。 日本消防協会から救急自動車の交付を受ける。
		松島分署庁舎改装工事竣工 潜水救助隊が発足する。
	1 0 月	消防署の組織を見直しする。救急救助係が設けられ、係長、主任制度が導入される。 御所浦分駐所を御所浦分署へ名称変更

3 年	1 1 月	苓北町に幼年消防クラブが6クラブ結成される。(富岡保育園、志岐保育園、坂瀬川保育園、宮原保育園、国照寺保育園、都呂々保育園)
	1 月	消防大学校予防科第49期入校(1人)
	2 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。 河浦分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	4 月	消防吏員5人採用(職員198人)
	7 月	署内報「あましよう」200号となる。 エンシニタス市へ消防国際交流派遣(1人)
4 年	8 月	日本消防協会から軽可搬ポンプの交付を受ける。(星光園) 救急救命中央研修所入校(1人)
	1 0 月	第1回天草地域幼年消防大会を開催する。
	1 月	消防大学校幹部研修科入校(1人) 松島分署消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	2 月	防災指導車購入、消防本部へ配備する。
	3 月	「阿蘇の火まつり」アスペクタにはしご乗り隊が出演する。 高規格救急自動車(かわせみ号)、救急普及啓発広報車(いるか号)を購入し、消防本部と中央消防署へ配備する。 嵐口少年消防クラブが日本防火協会から優良少年消防クラブの表彰を受ける。 小冊子「消防の仕事」を作成し、各小学校へ配布する。
	4 月	救急救命中央研修所入校(1人) エンシニタス市消防局から消防国際交流研修生来署(1人)
	5 月	消防大学校幹部研修科入校(1人)
	6 月	初の救急救命士誕生(1人) 南消防署はしご車オーバーホール 日本消防協会から軽可搬ポンプの交付を受ける。(星光園)
	8 月	全国消防救助技術大会(水上の部)で戸村羊士消防士が全国一に輝く。
	9 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。
	1 0 月	第13回全国消防操法大会(小型ポンプの部)で五和町が準優勝
	1 1 月	天草地域災害弱者緊急通報システムが運用を開始する。(本渡市、牛深市、松島町、有明町、姫戸町、龍ヶ岳町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町、河浦町)
5 年	1 月	本渡市のさくら保育園、めぐみ保育園に幼年消防クラブが結成される。
	3 月	消防庁長官功労章を中野孝一消防長が受ける。 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。 高浜少年消防クラブが日本防火協会から優良少年消防クラブの表彰を受ける。 西天草分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	4 月	平成5年度全国統一防火標語に坂本康介消防副士長の作品が第一席となる。 消防吏員5人採用(職員198人) 119番を消防本部通信指令室に集約する。(松島町、姫戸町、龍ヶ岳町、倉岳町、苓北町、天草町)1市11町へ拡大
	8 月	第1回天草広域消防近代化検討委員会を開催する。 組合のシンボルマークが決まる。
	1 0 月	第10回全国婦人消防操法大会に星光園婦人防火クラブが出場 天草消防組合20周年記念事業を開催する。 「天草消防のあゆみ」記念誌を発刊する。
	1 1 月	救急救命士東京研修所入所(1人) 第19回熊本県消防職員親善駅伝大会で10連覇を達成 天草地域幼少年婦人防火委員会が日本防火協会から優良団体表彰を受ける。
	1 2 月	中央消防署倉岳分遣所が開所する。 新和分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
6 年	1 月	消防大学校幹部研修科入校(1人)
	2 月	中央消防署の化学消防車Ⅲ型、消防本部の防火広報車、苓北分署の連絡車を更新する。 倉岳分遣所の無線基地局及び固定局「天消倉岳」が開局する。 坂本康介消防副士長が火災予防功労が評価され熊本県知事表彰を受ける。
	3 月	通信指令室の地図検索装置を更新する。 消防本部の運搬車を更新する。 阿村少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。 中野孝一消防長退任

7 年	4 月	消防長に堤内智紹氏（第四代）就任 職員定数 202 人とする。消防吏員 6 人採用（職員 202 人）	
	5 月	第 1 回救急隊員病院研修を実施する。 連絡車購入、倉岳分遣所へ配備する。	
	6 月	第 1 回上級救命講習会開催 24 人に修了証を交付する。 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。（5 台目）	
	7 月	第 1 回応急手当指導員講習会を実施する。 エンシニタス市へ消防国際交流派遣（1 人）	
	8 月	第 20 回熊本県消防ポンプ操法大会が本渡市で開催される。 日本消防協会から御所浦町婦人消防隊が軽可搬ポンプの交付を受ける。	
	9 月	無線局の識別信号を変更する。	
	11 月	防災行政無線の一括集中制御卓の運用を開始する。（本渡市、有明町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町）	
	12 月	本渡市に宮口区婦人防火クラブが結成される。	
	1 月	消防大学校警防科入校（1 人）	
	3 月	化学消防自動車 I 型購入、苓北分署へ配備する。 東天草分署の消防ポンプ自動車 CD-I 型を更新する。 大道少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。	
	4 月	職員定数 225 人とする。消防吏員 26 人採用（職員 225 人） 倉岳町に苓陽幼稚園幼年消防クラブが結成される。	
	5 月	全国消防長会特別功労表彰を堤内智紹消防長が受ける。 本渡市に東向寺保育園幼年消防クラブが結成される。	
	8 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。（河浦分署）	
	10 月	救急救命九州研修所入校（1 人） 熊本県消防学校研修教官派遣（1 年間、1 人） エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（消防長、研修生）	
	11 月	第 1 回天草地域幼少年婦人防火大会が開催される。 有明分署、新和分署の連絡車を更新する。 御所浦分署に救急自動車を配備する。	
	8 年	1 月	消防大学校警防科入校（1 人） 第 1 回大規模災害熊本県消防広域応援合同訓練が開催される。（熊本市）
3 月		全国少年消防クラブ運営指導協議会から牟田少年消防クラブが特に優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、南消防署に配備する。 堤内智紹消防長退任	
4 月		消防長に磨田敦男氏（第五代）が就任 5 人目の救急救命士誕生	
7 月		日本防火協会から防火広報車の交付を受ける。	
8 月		第 21 回熊本県消防ポンプ操法大会が小国町で開催される。 小型ポンプの部で本渡市消防団、ポンプ車の部で栖本町消防団が優勝	
9 月		大規模救急救助総合訓練を天草消防組合、警察、天草郡市医師会 3 団体合同で実施（杵宇土町） エンシニタス市へ消防国際交流派遣（1 人） 南消防署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。	
10 月		第 21 回全国消防操法大会に本渡市消防団が出場し 8 位に入賞する。 天草地域幼少年婦人防火委員会が防火新聞「あこう」を創刊 日本消防協会から宮口区婦人防火クラブへ軽可搬ポンプの交付を受ける。 日本防火協会から今津少年消防クラブが優良なクラブ表彰を受ける。	
11 月		緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が開催される。（合志町） 倉岳分遣所新庁舎が竣工する。	
9 年		1 月	消防大学校予防科入校（1 人）
		2 月	河浦町に幼年消防クラブ一町田保育所ちびっこ幼年消防クラブが結成される。
	3 月	第 19 回職員意見発表会が大矢野町総合体育館で開催される。 小型動力ポンプ付き水槽車を購入中央消防署に配備する。 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天附少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。	
	4 月	防護服（サルトガ NBC）5 着の導入	
	6 月	第 1 回応急手当普及啓発指導大会を開催する。	
	7 月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生 1 名）	

		五和町手野保育所、城河原保育所に幼年消防クラブが結成される。
	8月	全国消防救助技術大会で吉本賢一消防士が水上の部複合検索で第1位となる。 日本消防協会から防災用車両資機材（軽可搬式消防ポンプ樋合 - 婦人防火クラブ、応急救護器具 - 宮口区婦人防火クラブ）の交付を受ける。
	9月	大矢野分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	婦人防火全国大会が熊本市で開催され、天草地域から牛深ハイヤ婦人防火クラブが出演する。 第7回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を開催する。 消防大学校警防科入校（1人）
	11月	五和分署が移転、新庁舎が落成する。 天草空港予定地で熊本県消防協会天草郡支部防災訓練を実施する。
	12月	天草地域で新たに牛深市、松島町、姫戸町、御所浦町、五和町で幼年消防クラブを結成、33団体となる。また自主防災組織が58団体となる。
10年	2月	第20回消防職員意見発表会を松島町の「アロマ」で開催する。
	3月	中央消防署の梯子付き消防自動車（30メートル級）を更新する。 五和分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。 自治体消防50周年記念消防熊本大会がパークドーム熊本で開催され、はしご乗り隊、音楽隊が参加する。また、星光園婦人消防隊、御所浦町婦人消防隊が軽可搬消防ポンプ模範操法を披露する。 全国少年消防クラブ運営指導協議会から登立小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
	4月	消防吏員4人を採用（実員225人） 8人目の救急救命士誕生
	5月	龍ヶ岳町に4つの幼年消防クラブ（大道、高戸、樋島、下桶川保育所）が結成される。
	7月	倉岳町に3つの女性防火クラブ（倉岳ポピー、倉岳レインボー、宮田えびす）が結成される。 消防交流研修生としてエンシニタス市へ1名派遣
	8月	第22回熊本県ポンプ操法大会ポンプ車の部で栖本町消防団が優勝する。 第27回全国消防救助技術大会に10人が出場する。 日本消防協会から防災機器の交付をうける。C1級軽可搬式消防ポンプ付き軽積載車を御所浦町婦人消防隊、D1級軽可搬消防ポンプを宮口区婦人消防隊、応急救護資機材を樋合婦人消防隊へ交付する。
	9月	御所浦分署救急隊が熊本県知事の救急功労表彰を受ける。 消防大学校上級幹部科入校（1人）
	10月	携帯電話からの119番受付を開始する。 アジア消防長協会総会が福岡市で開催され、九州地区消防音楽隊フェスティバルに音楽隊が出演する。 第2回天草地域幼少年婦人防火大会を開催する。
	11月	日本防火協会から苓陽幼稚園幼年消防クラブが優良クラブの表彰を受ける。 消防協会天草郡支部防災訓練を有明町で開催する。 第21回消防職員意見発表会を龍ヶ岳町で開催する。
11年	2月	防火防災ビデオを中学・高校へ配布する。
	3月	消防年報をA4版として発行する。 南消防署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。 有明分署の救急自動車を更新し、救急資器材9項目を積載する。
	4月	熊本県共済農協連合会から救急自動車（2B型）の寄贈を受ける。 天草地域災害弱者緊急通報システム運営協議会が発足する。 天消アポロキャップを作成する。
	6月	新和町に3つの幼年消防クラブ（大多尾保育所さくら・小宮地保育所ひだまりの里・小宮地幼稚園）が結成される。
	7月	4人目の消防国際交流研修生が来署 日本消防協会から防災用車両資機材（軽可搬式消防ポンプ - 宮田えびす婦人消防隊）の交付を受ける。 第28回全国消防救助技術大会に5人が出場する。 熊本県消防職員剣道大会団体戦で優勝する。
	9月	消防協会天草郡支部防災訓練を天草町で開催する。
	10月	第8回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を開催する。 第14回全国婦人消防操法大会に樋合婦人消防隊が出場する。
	11月	第22回消防職員意見発表会を本渡市で開催する。

		倉岳町に幼年消防クラブ（倉岳保育所）が結成される。
		熊本県消防職員駅伝大会 16 年連続 21 回目の優勝
12 年	2 月	天草消防組合消防音楽隊 20 周年記念演奏会を開催する。
	3 月	天草広域消防連絡協議会が天草消防情報誌『絆』創刊号を発行する。
		天草空港航空機事故消火救難総合訓練を五和町で開催する。
		天草消防組合管理者 久々山義人氏退任
	4 月	消防吏員 4 名を採用（実員 223 人）
		新消防緊急通信指令システムの運用を開始する。
		天草消防組合管理者に安田公寛本渡市長が就任する。
	7 月	消防大学校警防科入校（1 人）
	8 月	熊本県消防剣道大会で団体の部（2 年連続）、個人の部ともに制覇する。
		第 29 回全国消防救助技術大会が熊本市で開催され 20 人が出場し、水上の部の複合検索で吉本賢一消防士が 2 度目の全国 1 位となる。
	9 月	松島分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
		第 23 回熊本県消防ポンプ操法大会が山鹿市で開催され、小型ポンプの部で牛深市消防団が優勝する。
		天草地域災害弱者緊急通報システムの緊急通報センター（消防本部）及び各市町相談センターの機器更新を行う。
	10 月	消防国際研修生としてエンシニタス市へ 1 人派遣する。
		日本防火協会から「煙体験ハウス」の助成を受ける。
	11 月	熊本県消防職員駅伝大会 17 年連続 22 回目の優勝
		熊本県消防協会天草郡支部防災訓練が姫戸町で開催される。
13 年	2 月	熊本県総合防災展が本渡市の「九州ジャスコ本渡店」で開催される。
	3 月	天草空港総合防災訓練
	4 月	消防大学校幹部研修科入校（1 人）
		第 23 回熊本県消防職員意見発表会（本渡市）
	5 月	中央消防署高規格救急自動車を更新する。
	6 月	天草消防組合解散
	7 月	天草広域連合に統合編入される。職員定数 218 人とする。
		第 13 回熊本県消防職員剣道大会個人の部で檜木副士長 2 連覇
		中央消防署消防ポンプ自動車 C D - I 型を更新する。
	8 月	第 30 回全国消防救助技術大会に 20 人が出場する。引揚救助で全国制覇
	9 月	東天草分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10 月	第 9 回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡市運動公園で開催する。
	11 月	第 4 回県下消防大規模災害対応訓練が五和町で開催される。
		熊本県幼年消防大会が松島町総合センター「アロマ」で開催される。
		熊本県消防協会天草支部の防災訓練が新和町大多尾港埋立地で開催される。
	12 月	防災消防ヘリコプターの運用要領研修会が本渡市営陸上競技場で催される。
14 年	1 月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車（新和分署）の寄贈を受ける。
	3 月	五和分署救急自動車を更新する。
		熊本市の上通、手取本町市街地総合防災訓練に中央消防署はしご小隊が応援出動する。
		消防庁から生物・化学剤災害対策用消防活動資機材を貸与される。（熊本・八代・天草の 3 消防本部）
	4 月	消防吏員 8 人を採用（実員 217 人）
	5 月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生 1 名）
		松島有料道路開通を前に西の浦トンネルで防災訓練を実施する。
	8 月	第 24 回熊本県消防ポンプ操法大会が八代市で開催され、小型ポンプの部で牛深市消防団が前回に引き続き優勝する。
		第 31 回全国消防救助技術大会に 8 人が出場する。水中検索で全国 3 位
	9 月	第 1 回天草救急医療連絡協議会が消防本部で開催される。
		五和分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10 月	消防大学校予防科入校（1 人）
		新規採用職員が本渡市内の給油取扱所において異業種職場研修を実施する。
		消防国際研修生としてエンシニタス市へ 1 人派遣する。
	11 月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練のため救急隊が鹿児島市へ出向
	12 月	県消防協会天草支部の防災訓練が栖本町で開催される。
15 年	1 月	消防本部指揮車を更新
	3 月	南消防署梯子付消防自動車を更新（24m 級）

		大矢野分署水槽付消防ポンプ自動車を更新 松島分署救急自動車を更新
4月		「天草広域消防30周年」を迎える。 消防吏員5人を採用(218人) 熊本県消防学校初任科46期5人入校 天草地域メディカルコントロール協議会発足(天草郡市医師会、天草保健所、基幹病院4施設、消防の7機関で構成) 熊本県防災消防航空隊派遣(2年間・1人)
7月		エンシニタス市から消防国際交流研修生来署(ジャック・グラスフォード氏) 輸送車(ニッサン・シビリアン)更新(消防本部配備) 水俣市(宝川内地区等)で土石流による災害発生(死者19人)、当本部から7日間、延91人が熊本県消防広域応援基本計画に基づき出動する。
8月		第32回全国消防救助技術大会(仙台市)に7人が出場 平成15年度熊本県総合防災訓練が本渡市で開催される。
9月		有明分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
10月		第10回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催 天草広域消防30周年記念誌「天消のあゆみ」作成
11月		第29回熊本県消防職員駅伝大会で23回目の優勝 御所浦町婦人消防隊平本イクヨ隊長が婦人消防隊育成功労者として日本消防協会会長表彰を受ける。 阿村少年消防クラブが優良少年消防クラブとして日本防火協会会長表彰を受ける。 大矢野分署普通救急自動車を高規格救急自動車に更新
16年	1月	自治体消防55周年記念大会(東京ドーム) 緊急資機材搬送車を購入(消防本部へ配備) 南消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新 消防大学校予防科入校(1人)
	2月	署内報「あましよう」30周年を迎える。
	3月	五和町消防団、日本消防協会から「まとい」受章 第24回消防職員意見発表会を有明町で開催する。 磨田敦男消防長が平成15年度消防庁長官表彰「功労章」を受章 牛深市消防団が消防庁長官表彰「表彰旗」を受章
	7月	上天草市誕生(大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町)31日付 消防国際研修生としてエンシニタス市へ1人派遣する。 えんけいじ保育園幼年消防クラブ(本渡市)、あそか保育園幼年消防クラブ(上天草市)が発足する。
	8月	第1回南九州消防職員親善剣道大会(球磨郡)で個人、団体とも優勝 第25回熊本県消防ポンプ操法大会(菊池市)で開催され、本渡市が小型ポンプの部で3位入賞する。
	9月	河浦分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	県消防協会天草支部の防災訓練が御所浦町で開催される。
	11月	各種災害対応救出救助訓練大会を五和分署で開催する。 東天草分署、苓北分署救急車を高規格救急自動車へ更新する。 第3回天草地域幼少年婦人防火大会を本渡市民センターで開催する。
17年	1月	消防大学校警防科入校(1人) 平成16年度県消防協会定例表彰で牛深市消防団が特別表彰の「まとい」を受章
	3月	全国少年消防クラブ運営指導協議会から上天草市立上小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 有明分署消防ポンプ自動車を更新する。 磨田敦男消防長退任
	4月	浦上政志消防長(第六代)就任(実員214人) 杉本司令補を総務省消防庁防災課へ派遣。
	7月	エンシニタス市からハイザー消防長他7人来署
	8月	第34回全国消防救助技術大会(さいたま市)に1人が出場する。
	9月	倉岳分署所救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。 消防大学校予防科入校(1人)
	10月	第11回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。
	11月	各種災害対応救出救助訓練大会を五和分署で開催する。 県消防協会天草郡支部の防災訓練が倉岳町で開催される。 第25回消防職員意見発表会を河浦町で開催する。

18年	2月	牛深市消防団、日本消防協会から「まとい」受章 中央消防署救助工作車、水槽付消防ポンプ自動車（消防2号車）更新
	3月	有馬健治司令長が平成17年度消防庁長官表彰「功労章」を受章 天草市誕生（本渡市、牛深市、有明町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、天草町、河浦町）27日付け 松下和則司令と川端正史司令が、平成17年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4月	消防吏員8人を採用（実員217人） 第17回熊本県救急教育セミナーが天草地域医療センターで開催される。
	5月	第29回熊本県消防職員意見発表会（富合町）で本山消防士が優秀賞を受章する。
	8月	第35回全国消防救助技術大会（札幌市）に延べ13人が出場し、ロープブリッジ救出で瀧本班が3位に入賞する。 第26回熊本県消防ポンプ操法大会が人吉市で開催され上天草市が4位に入賞する。
	9月	西天草分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練のため北九州市出向 消防大学校火災調査科入校（1人）
	12月	倉岳分遣所救急車を高規格救急車へ更新する。
19年	1月	有明分署が33年に亘る菊花配布が認められ第11回防災まちづくり大賞「住宅防火部門」消防庁長官賞を受賞する。
	3月	浦上政志消防長が平成18年度の消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 苓北町消防団が消防庁長官表彰「表彰旗」を受章 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市立新和小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 新消防救急艇「ごしょうらⅢ」が就航する。 東天草分署新庁舎が落成する。
	4月	濱田副士長を総務省消防庁消防・救急課へ派遣 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間・1人） 消防吏員3人採用（実員218人、うち派遣1人）
	8月	第36回全国消防救助技術大会（東京都）へ12人が出場する。 日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車の寄贈を受ける。
	9月	新和分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	第39回九州地区消防職員親善剣道大会、団体の部で初優勝 丸田光二司令補が第55回全国消防技術者会議で「多目的救助ネットの考案」発表
	11月	消防大学校危険物科入校（1人） 第12回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。 南消防署高規格救急自動車を更新 第4回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第26回消防職員意見発表会を新和町で開催する。
	12月	Eメール119番受信システム運用開始 消防情報メール配信システム運用開始
20年	1月	河浦分署水槽付消防ポンプ自動車を更新
	3月	第10回全国消防広報コンクール「広報写真部門」で入選 自治体消防60周年記念大会（東京ドーム） 鶴田徳雄司令長が平成19年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 署内報「あましょう」400号を発刊 全国消防長会特別表彰を浦上政志消防長受賞
	4月	消防吏員6人を採用（実員218人、うち派遣1人）
	6月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	7月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生1名）
	8月	第37回全国消防救助技術大会（北九州市）に2種目4人が出場する。 第27回熊本県消防ポンプ操法大会が阿蘇市で開催され天草市が2位に入賞する。
	9月	苓北分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	11月	天草広域連合消防音楽隊発足30周年記念演奏会を天草市民センターで開催する。
21年	2月	多数傷病者救急救助総合訓練を天草市港町で開催する。 署内報「あましょう」35周年を迎える。 天草広域連合消防庁舎建設検討委員会を設置
	3月	第20回全国消防本部対抗駅伝で陸上部が4位に入賞する。 増田民雄司令長、長川布治作司令長、山田幸明司令が平成20年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章

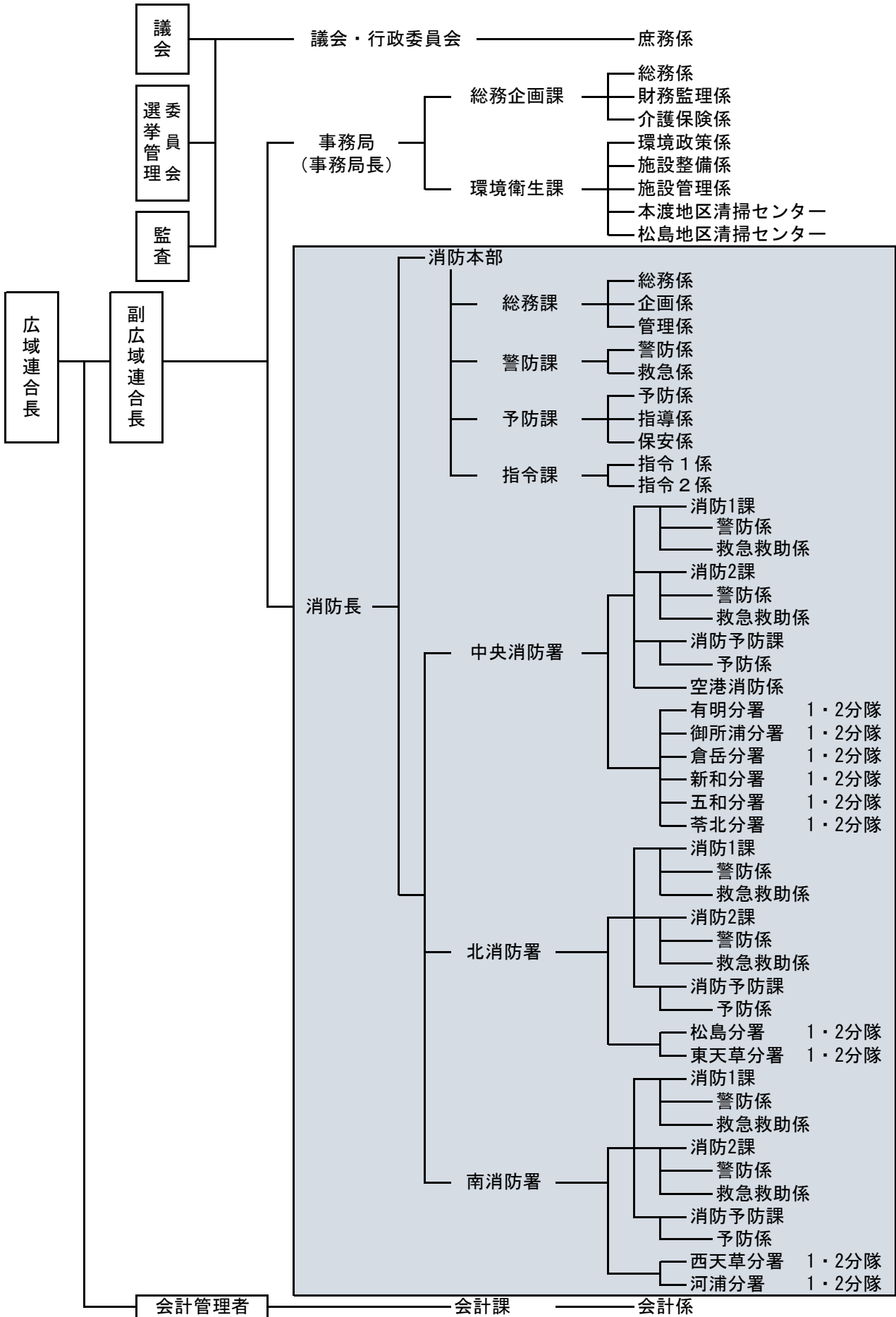
		「天消のあゆみ」記念誌を発刊する。
		全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市牛深少年消防クラブがシルバー消太賞の表彰を受ける。
		浦上政志消防長退任
22年	4月	園田長男消防長就任（第七代） 消防吏員7人採用（実員213人、うち派遣1人） 消防大学校救助科入校（1人） 新和分署及び五和分署が分遣所へ移行 第29回熊本県救急教育セミナーが天草地域医療センターで開催される。
	5月	天草広域連合消防分署分遣所移行計画諸問題検討会を設置
	8月	第38回全国消防救助技術大会（横浜市）に2種目9人が出場する。
	11月	河浦分署普通救急自動車を高規格救急車に更新 有明分署の菊花配布が、36年間で総数6,663鉢を配付して終了した。 第13回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。
	2月	第27回消防職員意見発表会を消防本部で開催する。
	3月	園田長男消防長が平成21年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 中央消防署及び大矢野分署高規格救急車を更新 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市久玉少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
		園田長男消防長退任
	4月	小松英雄消防長就任（第八代） 消防吏員11人採用（実員211人、うち派遣1人） 有明分署が分遣所へ移行 天草広域連合広域計画策定審議会を設置 熊本県消防学校教官派遣（2年間1人）
	7月	天草広域連合広域計画等策定審議会より答申を受ける。
	8月	新和・五和・有明分遣所の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車へ更新する。 第39回全国消防救助技術大会（京都市）に1種目5人が出場する。 第28回熊本県消防ポンプ操法大会が荒尾市で開催され、小型ポンプの部で天草市が2位、3位に入賞する。
	10月	エンシニタス市からハイザー元消防長ら4人が表敬訪問
	11月	有明分遣所高規格救急自動車を更新 天草空港航空機事故消火救難総合訓練を開催する。 第5回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第2次天草広域連合広域計画が議会定例会で議決される。
23年	1月	消防大学校予防科入校（1人）
	3月	越口文男司令長、若山幸信司令長が平成22年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 東日本大震災へ熊本県緊急消防援助隊として救急隊及び後方支援隊を派遣（第1次隊6人、第2次隊6人） 南消防署が久玉町へ新築移転
	4月	消防吏員11人採用（実員212人、うち派遣2人） 4分遣所（有明、倉岳、新和、五和）を分署へ名称変更
	9月	消防大学校幹部科入校（1人）
	10月	九州地区消防音楽隊演奏技術研修会を天草市で開催する。 新和分署高規格救急車を更新する。 御所浦分署及び倉岳分署に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
	11月	第28回消防職員意見発表会を牛深町で開催する。
	12月	第3回全国消防職員剣道大会で天草消防剣道部が3位入賞する。
24年	3月	全国少年消防クラブ運営指導協議会から上天草市中南小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブ表彰を受ける。 小松英雄消防長退任
	4月	鳥羽瀬博文消防長就任（第九代） 消防吏員11人採用（実員216人、うち派遣1人、再任用職員3人） 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間1人）
	4月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	8月	第29回熊本県消防ポンプ操法大会が天草市で開催され、小型ポンプの部で天草市消防団が優勝する。 天草ガスより査察車の寄贈を受ける。

25年	10月	消防大学校警防科入校（1人）
	3月	富安國男消防監、花谷雄治司令長が平成24年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 消防本部・中央消防署庁舎建設の起工式が行われる。
	4月	消防吏員9人採用（実員212人、うち派遣1人、再任用職員3人）
	5月	東天草分署連絡車を更新する。
	8月	第42回全国消防救助技術大会（広島市）に2種目8人が出場する。
26年	10月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	11月	第6回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第15回屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。 消防団120年・自治体消防65周年記念大会が東京ドームで開催される。 第29回消防職員意見発表会を消防本部で開催する。
	1月	消防大学校予防科入校（1人）
	3月	鳥羽瀬博文消防正監、福田健児司令長、原田和喜司令長が平成25年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 消防本部・中央消防署庁舎が移転落成し、一般公開が行われる。 高機能消防指令システムを更新する。 鳥羽瀬博文消防長退任
	4月	森田泰司消防長就任（第十代） 消防吏員15人採用（実員211人、うち派遣1人） 総務省消防庁から拠点機能形成車の貸与を受ける。 安田公寛天草広域連合長退任 中村五木天草広域連合長就任（第二代） 第30回熊本県消防操法大会が人吉市で開催され、小型ポンプの部で天草市が優勝する。
	8月	熊本県総合防災訓練・天草市防災訓練が天草市大矢崎緑地公園で開催される。
		消防大学校幹部科入校（1人）
		鶴本豊治司令長が平成26年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	3月	苓北分署化学消防自動車、東天草分署水槽付消防ポンプ自動車、松島分署高規格救急自動車を更新する。 消防救急デジタル無線基地局が完成する。（十万山基地局、老岳中継基地局、河浦中継基地局、平家城前進基地局）
	4月	消防吏員12人採用（実員209人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
27年	6月	消防大学校警防科入校（1人）
	8月	第44回全国消防救助技術大会（神戸市）に1人が出場する。
	10月	第7回屋内消火栓操法大会・消防救急フェアを開催する。
	11月	中央消防署防災研修車を購入する。 全国緊急消防援助隊合同訓練（千葉市）に参加する。
		中央消防署化学自動車、西天草分署水槽付消防ポンプ自動車、五和分署高規格救急自動車を更新する。
28年	3月	消防救急デジタル無線が完成する。 森田泰司消防正監、野島幸一消防監、大塚和廣司令長、佐藤誠二司令長が平成27年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 森田泰司消防長退任
	4月	大友晃消防長就任（第十一代） 大矢野分署を北消防署へ改め中央消防署、北消防署、南消防署の三署体制へと移行 消防吏員11人採用（実員211人） 熊本地震発生、熊本県消防広域応援基本計画に基づき、消火隊、救助隊、救急隊及び後方支援隊を派遣（1次隊22人、2次隊17人、3次隊3人） 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間1人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
	8月	消防大学校救助科入校（1人）
		第45回全国消防救助技術大会（松山市）に5人が出場する。
	11月	第7回天草地域幼少年婦人防火大会を開催する。 北消防署指揮車を購入する。
	3月	新和分署及び御所浦分署新庁舎落成 山下弥平消防司令長が平成28年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4月	消防吏員7人採用（実員214人）
29年		

30年	7月	熊本県消防学校教官派遣（1人） 平成29年「九州北部豪雨」発生、熊本県緊急消防援助隊として、指揮隊、救助隊、救急隊及び後方支援隊を派遣（21日間、計7隊98人を派遣）
	8月	第46回全国消防救助技術大会（仙台市）に8人が出場する。
	10月	第8回屋内消火栓操法大会が開催される。 消防大学校火災調査科入校（1人）
	1月	中央消防署御所浦分署救急車を購入する。
	2月	北消防署新庁舎落成 北消防署救助工作車（Ⅲ型）、高度救助資機材及び高度探査装置を購入する。
	3月	大友 晃消防正監、川口義広消防監が平成29年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 自治体消防70周年記念式典が国技館で開催される。 大友晃消防長退任
	4月	平野照幸消防長就任（第十二代） 消防吏員7人採用（210人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
	10月	消防大学校警防科入校（1人） 中央消防署、北消防署高規格救急車を更新する。
	11月	第32回消防職員意見発表会をホテル アレグリアガーデンズ天草で開催する。 中央消防署指揮車を更新する。
	3月	小型無人航空機「ドローン」の運用開始 平野照幸消防正監、菅原幸雄消防司令長が平成30年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 平野照幸消防長退任
31年	4月	寺中 晃消防長就任（第十三代） 消防吏員3人採用（実員211人） 天草地域災害弱者緊急通報システムの運用を構成市町が委託する民間業者へと移行させる。 熊本県消防学校教官派遣（2年間1人） 消防大学校救助科入校（1人）
	《令和》元年	5月 元号が令和となる（1日） 6月 消防大学校幹部科入校（1人） 7月 有明分署及び西天草分署新庁舎落成 8月 河浦分署新庁舎落成 天草広域連合消防本部高度救助隊が発足する。 苓北分署、東天草分署高規格救急車を更新する。
	10月	第18回屋内消火栓操法大会を開催する。
	11月	第8回天草地域幼少年女性防火大会を開催する。 第33回消防職員意見発表会をホテル アレグリアガーデンズ天草で開催する。
	2年	1月 天草信用金庫より災害対応支援車の寄贈を受ける。 3月 寺中 晃消防正監が令和元年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 中央消防署消防ポンプ自動車CD-I型を更新する。 寺中 晃消防長退任
	4月	杉本博文消防長就任（第十四代） 消防吏員5人採用（実員215人）
	5月	多言語三者間通話システムの運用を開始する。
	6月	天草設備株式会社より無人航空機「ドローン」の寄贈を受ける。 消防大学校危険物科入校（1人）
	7月	令和2年7月豪雨に伴う熊本県内消防相互応援隊として、消火隊、救助隊、捜索隊及び後方支援隊を派遣（29日間、延べ87人を派遣）
	9月	濱 優介消防士が第43回全国消防職員意見発表会で優秀賞を受賞
3年	12月	松島分署新庁舎落成 中村五木天草広域連合長が急逝される。
	2月	馬場昭治天草広域連合長就任（第三代） 梯子付き消防自動車を更新する。
	3月	消防大学校高度救助・特別高度救助コース（1人） 資機材搬送車を更新し水上バイク1台を導入する。

		杉本博文消防正監、平山 剛消防監、平田日吉消防司令長が令和２年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
		杉本博文消防長退任
4 年	4 月	益田徳仁消防長就任（第十五代） 消防吏員１０人採用（実員２１５人） 消防本部を組織改革する。（火災原因調査を予防課へ移管。警防課の事務分掌を一部変更） 熊本県防災消防航空隊派遣（３年間１人） 令和３年度熊本県消防長会春季総会及び第４４回熊本県消防職員意見発表会をホテル アレグリアガーデンズ天草で開催する。
	7 月	Net 119の運用を開始する。
	1 1 月	南消防署高規格救急車を更新する。
	1 月	北消防署訓練棟落成
	2 月	消防大学校高度救助・特別高度救助コース（１人）
	3 月	新和分署・有明分署消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型へ更新する。 益田徳仁消防正監、古谷 伸消防監が令和３年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4 月	益田徳仁消防長退任 寺岡貴章消防長就任（第十六代） 消防吏員３人採用（実員２１２人） 消防救急艇「ごしょうらⅢ」のオーバーホールを実施する。
	6 月	消防大学校警防科入校（１人）
	8 月	第５０回全国消防救助技術大会（東京都）に８人が出場する。
	1 1 月	緊急消防援助隊全国合同訓練（静岡県）へ救急隊・後方支援隊を派遣
5 年	1 2 月	令和４年度九州地区消防音楽隊演奏技術研修会を天草市で開催する。
	2 月	新和分署高規格救急車を更新する。
	4 月	消防吏員４人採用（実員２０８人） 五和分署・倉岳分署消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型へ更新する。 南消防署指揮車を更新する。 中央消防署小型動力ポンプ付水槽車を更新する。
	7 月	総務省消防庁から小型救助車の無償貸与を受ける。
	8 月	第５１回全国消防救助技術大会（札幌市）に２種目６人が出場する。
	1 0 月	中央消防署支援Ⅲ型（人員輸送車）を更新する。
	1 1 月	苓北分署新庁舎落成 第３７回消防職員意見発表会をアマクササントカミングホテルで開催する。
6 年		天草消防公式Instagramを開設する。
	2 月	中央消防署高規格救急車を更新する。
	3 月	消防大学校高度救助・特別高度救助コース（１人） 東天草分署消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型へ更新する。
	4 月	消防吏員８人採用（実員２１２人） 熊本県消防学校教官派遣（２年間１人） 消防本部を組織改革する。（予防課の係再編）
	6 月	消防大学校予防科入校（１人）
	8 月	第５２回全国消防救助技術大会（千葉県）に２種目４人が出場する。 消防大学校救助科入校（１人）
	1 1 月	第３８回消防職員意見発表会をアマクササントカミングホテルで開催する。
7 年	1 2 月	北消防署・松島分署高規格救急車を更新する。
	2 月	東京消防庁短期受託研修派遣（１人）
	3 月	松島分署消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型へ更新する。 寺岡貴章消防正監、小平 直消防司令長、宮下 力消防司令長、竹川光幸消防司令長が令和６年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
		寺岡貴章消防長退任
	4 月	戸村羊士消防長就任（第十七代） 消防吏員７人採用（実員２１６人） 職員定数条例が改正され定数２３０人となる。 天草空港消防隊を中央消防署空港係へ編入する。 消防署へ消防予防課を新設する。
	5 月	天草工業高校生徒の協力により天消シンボルマークを作成する。

4 天草広域連合の組織図



5 天草広域連合特別職及び役職名

令和7年4月1日現在

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	市 町 役 職
広 域 連 合 長	馬 場 昭 治	令 和 3 年 2 月 21 日	天 草 市 長
副広域連合長	堀 江 隆 臣	平 成 26 年 12 月 22 日	上 天 草 市 長
	山 崎 秀 典	令 和 5 年 2 月 15 日	苓 北 町 長
議 長	若 山 敬 介	令 和 4 年 5 月 24 日	天 草 市 議
副 議 長	桑 原 千 知	令 和 5 年 5 月 30 日	上 天 草 市 議
会 計 管 理 者	本 田 一	令 和 5 年 4 月 1 日	天草市会計管理者
監 査 委 員	松 岡 寿	令 和 6 年 8 月 26 日	天 草 市
	水 野 博 之	令 和 6 年 4 月 1 日	上 天 草 市

6 消防本部・消防署事務分掌

(総務課)

総務係

- (1) 消防部門の渉外に関する事。
- (2) 消防部門の式典、儀礼及び交際に関する事。
- (3) 消防部門の苦情の処理に関する事。
- (4) 消防部門の公印に関する事。
- (5) 消防職員(以下「職員」という。)の任免、服務、賞罰及び身分に関する事。
- (6) 消防部門の福利厚生に関する事。
- (7) 消防長会及び消防協会に関する事。
- (8) 各市町消防担当課長会議及び消防担当者会議に関する事。
- (9) 消防部門の庶務に関する事。

管理係

- (1) 消防職員の貸与品に関する事。
- (2) 消防施設の維持管理に関する事。
- (3) 消防部門の車両の登録及び検査に関する事。
- (4) 消防部門の物品の購入、用度に関する事。
- (5) その他管理に関する事。

企画係

- (1) 消防行政の企画及び調整に関する事。
- (2) 消防部門の広報及び広聴に関する事。
- (3) 消防音楽隊に関する事。
- (4) 天草広域消防連絡協議会に関する事。
- (5) 梯子乗り隊に関する事。
- (6) その他企画情報に関する事。

(警防課)

警防係

- (1) 消防職員の教育訓練に関する事。
- (2) 防災計画及び訓練計画の作成並びに実施に関する事。
- (3) 消防相互応援及び出動計画に関する事。
- (4) 各種災害の統計に関する事。
- (5) 機械器具等の維持管理及び改善研究に関する事。
- (6) 救助業務の計画及び訓練に関する事。
- (7) 救助資機材に関する事。
- (8) 救助隊の掌握及び運営に関する事。
- (9) 救助技術の研究に関する事。
- (10) その他警防に関する事。

救急係

- (1) 救急業務の計画及び訓練に関する事。
- (2) 救急資機材に関する事。
- (3) 救急及び救命の研究に関する事。
- (4) 救急技術の指導及び救急知識の普及啓発に関する事。
- (5) その他救急に関する事。

(予防課)

予防係

- (1) 火災予防条例に関する事。
- (2) 防火対象物の防火管理に関する事。
- (3) 防火思想の普及及び指導に関する事。
- (4) 防火委員会に関する事。
- (5) 自衛消防隊及び少年消防クラブ等の指導育成に関する事。
- (6) その他予防に関する事。

指導係

- (1) 建築物の許可、認可及び確認の同意に関する事。
- (2) 消防用設備等に関する事。
- (3) 違反防火対象物の指導取締り及び措置命令に関する事。
- (4) その他予防に関する事。

保安係

- (1) 危険物の規制に関すること。
- (2) 指定可燃物の規制に関すること。
- (3) 危険物取扱者及び保安監督者の指導育成に関すること。
- (4) 違反危険物施設の指導取締り及び措置命令に関すること。
- (5) 高圧ガス及び液化石油ガスの安全指導に関すること。
- (6) 火薬類消費許可（煙火）に関すること。
- (7) 危険物安全協会に関すること。
- (8) その他危険物に関すること。
- (9) 火災原因及び損害の調査に関すること。

(指令課)

指令1係・指令2係

- (1) 通信業務に関すること。
- (2) 通信施設の維持管理、改善に関すること。
- (3) 気象観測、気象情報及び災害情報に関すること。
- (4) 救急医療情報に関すること。
- (5) 消防統計に関すること。
- (6) その他通信に関すること。

(消防署)

消防1課・消防2課

警防係

- (1) 服務及び規律に関すること。
- (2) 職員の配置に関すること。
- (3) 統計及び広報に関すること。
- (4) 物品の出納及び保管に関すること。
- (5) 防災計画及び訓練計画の作成及び実施に関すること。
- (6) 火災の警戒防御に関すること。
- (7) 水災その他特殊災害に関すること。
- (8) 消防通信に関すること。
- (9) 消防気象に関すること。
- (10) 地理、水利に関すること。
- (11) 各種災害の調査及び報告並びに統計に関すること。
- (12) 火災原因及び損害等の調査に関すること。
- (13) 罹災証明に関すること。
- (14) 署の庶務に関すること。
- (15) その他警防に関すること。

救急救助係

- (1) 救急救助業務の実施に関すること。
- (2) 救急救助統計に関すること。
- (3) 救助隊の運営に関すること。
- (4) 救急救助及び消防機械器具等の教育訓練に関すること。
- (5) 消防機械器具の維持管理及び改善研究に関すること。
- (6) その他救急救助に関すること。

消防予防課

予防係

- (1) 火災予防条例に関すること。
- (2) 少量危険物及び指定可燃物に関すること。
- (3) 危険物の規制に関すること。
- (4) 建築確認の同意に関すること。
- (5) 防火管理に関すること。
- (6) 消防用設備等に関すること。
- (7) 違反防火対象物の指導取締り及び措置命令に関すること。
- (8) 自衛消防隊及び少年消防クラブ等の指導育成に関すること。
- (9) その他予防に関すること。

中央消防署空港消防係

- (1) 天草空港の消防業務に関すること。
- (2) その他の消防業務に関すること。

7 消防本部・消防署人員配置表

令和7年4月1日現在

区 分		階級								計	
		正 監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士		
消防本部	小 計		1	1	3	9	4	4	5	6	33
	消 防 長		1								1
	次 長										
	総務課	課 長		1							1
		課 長 補 佐				1					1
		総 務 係				1			1		2
		管 理 係				(1)		1			1
		企 画 係				(1)					
	指令課	課 長			1						1
		課 長 補 佐				1					1
		指 令 係				2	2	3	3		10
	警防課	課 長			1						1
		警 防 係				1					1
		救 急 係				1					1
	予防課	課 長			1						1
		予 防 係				1					1
		指 導 係				(1)					
		保 安 係					2				2
	派遣・消防学校等					1			1	6	8
消防署	小 計			1	2	34	40	35	34	37	183
	中央消防署	中 央 消 防 署		1		10	10	6	7	9	43
		有 明 分 署				1	1	4	1	3	10
		御 所 浦 分 署				2	2	3	3		10
		倉 岳 分 署				1	2	3	2	2	10
		新 和 分 署				1	2	3		2	8
		五 和 分 署				1	3		1	3	8
		苓 北 分 署				1	2	2	3	2	10
	北消防署	北 消 防 署			1	5	5	3	3	6	23
		松 島 分 署				2	2	1	3	2	10
		東 天 草 分 署				1	2	2	2	3	10
	南消防署	南 消 防 署			1	6	5	3	3	3	21
		西 天 草 分 署				1	3	2	3	1	10
		河 浦 分 署				2	1	3	3	1	10
合 計		1	2	5	43	44	39	39	43	216	

() は兼務

8 天草広域連合一般会計予算（当初）

（歳入）

（単位・千円）

款		令和6年度	令和7年度	比較
1	分担金及び負担金	3,892,567	3,387,589	△504,978
2	使用料及び手数料	145,848	165,363	19,515
3	国庫支出金	160,040	0	△160,040
4	県支出金	37,762	51,727	13,965
5	財産収入	335	392	57
6	寄附金	1	1	0
7	繰入金	81,490	0	△81,490
8	繰越金	1	1	0
9	諸収入	46,104	49,082	2,978
歳入合計		4,364,148	3,654,155	△709,993

（歳出）

（単位・千円）

款		令和6年度	令和7年度	比較
1	議会費	1,499	1,505	6
2	総務費	156,850	100,331	△56,519
3	民生費	48,025	73,666	25,641
4	衛生費	2,004,730	1,438,393	△566,337
5	消防費	2,137,712	2,024,871	△112,841
6	公債費			0
7	諸支出金	332	389	57
歳出合計		4,349,148	3,639,155	△709,993

9 消防予算(当初)

(歳入)

(単位・千円)

款	項	令和6年度	令和7年度	比 較	前年比 (%)
1 分担金及び負担金	1 負担金	2,072,111	1,966,846	△105,265	95%
2 使用料及び手数料	1 手数料	614	537	△77	87%
3 国庫支出金	1 補助金	22,298	0	△22,298	0%
4 県支出金	1 委託金	37,762	51,727	13,965	137%
5 財産収入	1 財産売払収入	4	4	0	100%
6 繰入金	1 繰入金			0	-
7 繰越金	1 繰越金			0	-
8 諸収入	1 雑入	7,923	8,757	834	111%
歳入合計		2,140,712	2,027,871	△112,841	95%

(歳出)

(単位・千円)

款・項・目	令和6年度	令和7年度	比 較	前年比 (%)
消防費	2,137,712	2,024,871	△112,841	95%
(1) 常備消防費	1,840,499	1,900,793	60,294	103%
(2) 消防施設費	259,784	124,078	△135,706	48%
(3) 消防庁舎建設事業費	0	0	0	廃目
(4) 天草空港消防業務受託事業費	37,429	0	△37,429	廃目
予備費	3,000	3,000	0	100%
歳出合計	2,140,712	2,027,871	△112,841	95%

10 基準財政需要額及び常備消防費負担金(当初)

(単位・千円)

区 分	消防費基準財政需要額			常備消防費負担金		
	令和6年度採用 (令和5年度)	令和7年度採用 (令和6年度)	比 較	令和6年度	令和7年度	比 較
天 草 市	1,468,111	1,527,261	59,150	1,374,036	1,303,276	△70,760
上 天 草 市	544,456	569,523	25,067	509,567	485,998	△23,569
天草郡苓北町	201,415	208,091	6,676	188,508	177,572	△10,936
合 計	2,213,982	2,304,875	90,893	2,072,111	1,966,846	△105,265

※ 基準財政需要額は前年度額を基準とするため前年度の額を記載

※ 常備消防負担金には、天草空港消防業務受託事業費負担金は含まない。